

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

令和6年5月1日

米子市議会議長様

（会派の場合）

会派名 自由創政
代表者氏名 渡辺 穰爾
提出者氏名 塚田 佳充

（議員の場合）

議員名



（印）

下記のとおり報告します。

記

項 目	☐ 現地調査 ☒ 行政視察 ☐ 要請・陳情活動 ☐ 研修会への参加 ☐ 会議への参加
参 加 者	岩崎康朗、岡田啓介、奥岩浩基、田村謙介 塚田佳充、戸田隆次、西野太一、渡辺穰爾
期 日	令和6年4月22日から令和6年4月24日まで
〔概 要〕（年月日・場所・内容） 令和6年4月22日 岩手県盛岡市 木伏緑地について 令和6年4月23日 福島県郡山市 健康未来都市に向けた都市開発推進事業 令和6年4月24日 栃木県那須塩原市 デジタル田園都市国家構想交付金を活用したまちづくり	
〔所 感〕 別紙のとおり	
経 費	旅 費 @ 円× 8人=791,925円 その他 @ 円× 人= 円 合 計 791,925円

（注）氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

別紙

◎米子市議会 会派自由創政 行政視察報告書（盛岡市）

- ・視察先 盛岡市役所 木伏緑地整備事業現地視察
- ・日時 令和6年4月22日 14時から15時30分まで
- ・視察項目 木伏緑地について（都市公園を活用した公民連携事業 Park-PFI）
（盛岡市都市整備部 公園みどり課）

1 盛岡市について

	盛岡市	米子市
人口	285,270 人	146,899 人
面積	886.47 km ²	132.42 km ²
人口密度	321.8 人/km ²	1109.3 人/km ²

岩手県のほぼ中央にあり、北上盆地の北部に位置する。江戸時代は盛岡藩の城下町で、北東北で最大の消費地であり、商業・サービス業が盛んで、第3次産業の比率が高い。

2 視察目的

本市の都市公園においては、平成29年度の都市公園法改正により創設された Park-PFI 制度を取り入れた事がなく、木伏緑地整備事業など Park-PFI 制度を先進的に取り組まれている盛岡市を、視察させていただきました。

3 事業概要

事業内容	公募対象公園施設及び特定公園施設（公衆用トイレ）の設置
整備面積	0.4ha
事業費	約 28,000 千円（特定公園施設買取額、うち 50%国補助金）
事業期間	平成 30 年～令和 19 年
事業者	ゼロイチキュー合同会社

○ 事業背景

平成 26 年度より取り組んでいる「公園活性化プラン」という制度の中の「ビジネス部門」で事業提案を受けていたが、当時の都市公園法や条例では建蔽率の制約があり事業化には至らなかった。

平成 29 年度 Park-PFI 制度により、建蔽率が 2%だったのが 12%に増加し、より多くの収益物を構築できるようになり、民間のアイデアを表現できる可能性が広がった。

平成 30 年 6 月に公園利用者等の利便向上に繋がる民間収益施設と以前から市民の要望が強かった公衆トイレを整備する事を目的とし、公募を行った。

ゼロイチキュー合同会社が管理事業者に決まり、木伏緑地整備事業に盛岡市は 28,000 千円をトイレ整備費として事業者を支払った。（国補助 50%）そして事業者から毎年 70 万円（20 年間で 14,000 千円）賃貸契約を結び、実質、トイレ整備を市の負担 0 円で整

備した。

○ Park-PFI とは

平成 29 年度 都市公園法改正

- ・事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される。

4 視察内容

- ・盛岡市は、行政側の負担金を実質 0 円で公衆トイレ整備事業を行うことができ経費削減、市内の賑わい創出も演出できた。
- ・民間のゼロイチキュー合同会社は、盛岡市に都市公園使用料を年間 70 万円支払うが、事業費のうちトイレ整備費 28,000 千円を盛岡市に買い取ってもらい、木伏緑地内に整備したコンテナ型店舗 10 件（中央資本ではなく地元資本の店舗）の賃貸収入が可能。
- ・市民は、まちなかにこれまで存在しなかった、芝生広場というオープンスペースが生み出されたことで、公園利用の多様な使い方が見られるようになった。

5 所感、考察

現在、本市都市公園の賑わい創出は、イベント開催時には多くの市民が訪れますが、通常時は閑散している公園もあります。また整備事業についても、まだまだ必要な公園がある。

盛岡市、木伏緑地整備事業を視察させていただき、Park-PFI 制度により、公共事業の経費削減、民間事業者が都市公園のポテンシャルを引き出し、賑わい創出にも繋がる取り組みを行う事業は、今後の本市都市公園の在り方についてとても参考になりました。

◎米子市議会 会派自由創政 行政視察報告書（郡山市）

- 1 視察日時 令和 6 年 4 月 23 日（火） 午後 1 時 30 分より午後 3 時まで
- 2 視察先 郡山市役所
- 3 視察項目 「健康未来都市に向けた都市開発事業について」
- 4 郡山市について 人口 319,702 人（米子市の約 2.2 倍）
面積 757.20 平方キロメートル（米子市の約 5.7 倍）

5 事業概要

郡山市では人口の 67%が自動車・自転車移動に依存しており公共交通の利用率の低下から路線バスの廃止が進んでおり、郡山駅周辺では震災以降取り壊した建物の跡地などの空き地化や駐車場となる土地が増加による中心市街地の空洞化が進んでいる。郡山市では「100 年先を見据えた俯瞰型都市構想」を掲げ、コンパクトプラスネットワーク都市、地域特性を持った機能の集約、立地訂正化計画による都市機能誘導化区域での機能

の集積を進め、再開発事業に取り組んでいる。

6 視察内容

郡山市役所の都市構想部都市政策課、伊藤係長より「健康未来都市に向けた都市開発推進事業」についてご説明いただいた。郡山市では、地方都市で課題となっている少子高齢化、公共交通の利用客減少などによる郡山駅周辺の土地利用の空洞化への対策や、100年先を見据えた都市機能の集積などを目的として郡山駅周辺の中心市街地での再開発事業を進めている。事業にあたっては、想定する再開発事業の案件ごとに活用できる再開発手法を「市街地再開発事業」と「優良建築物等整備事業」とに振り分け、その後都市計画決定の必要の有無を確認し、「調査設計計画費」「土地整備費」「共同施設整備費」を補助対象事業とし、補助対象費用の2/3（上限全体事業費の20%）補助を行うスキームとなっている。優良建築物等整備事業においては、都市計画決定、都市再開発法に基づく承認が不要となっており、目的に応じて「優良再開発型」「市街地住宅供給型」「既存ストック再生型」「都市再構築型」「複数棟改修型」の5つのタイプに分けて補助を行っている。これらの手法により、官民そして地元が一体となって再開発を進めることとなり、その後の当該地区の活性化が期待されている。一方で、都市計画決定を要する1つの開発事業に8年以上の期間がかかるなど、民間事業者からすると財政面で厳しく事業開始に結びつかなかったり、事業が途中で休止するなど難しい面もあった。また、現在完了した事業の多くは医療施設を併設する例が多く、コンパクトシティ構想による都市機能の誘導がみられる一方で、財政的に余裕のある事業主体でなければ事業完遂に至らない面も見受けられた。

7 所感・考察

米子市では、平成26年改正の都市再生特別措置法に基づき、国も推奨する人口減少社会を見据えたコンパクトプラスネットワークのまちづくりの考え方を取り入れ、立地適正化計画を示している。また、米子駅周辺地区では都市再生整備計画を掲げ令和8年度事業完了に向けて周辺の再整備を行っている。この度の郡山市の視察では、米子市と同じく駅周辺を中心とした都市機能の誘導による再開発の推進について学ばせていただいた。郡山市は県庁所在地ではないが、米子市と同じく道路・鉄道・空港が結節するいわゆる交通の結節点として県内外を含めた近隣の要所として発達しており様々な点から重要な自治体となっている。また、郡山駅の線路によって長らく東西が分断されており、現在西側の開発に苦慮しているという点においても、今後の米子駅南側の発展について考えている米子市と似通っている。郡山市における都市再開発推進事業では、駅周辺の再開発事業を参考にさせていただいたが、一方で、1) 年数が長くかかる、2) 都市機能の誘導区域外への課題、3) 大手以外の事業者の事業参加がない、等の課題も多く似た課題を抱える米子市としても課題を再認識する機会となった。郡山市では「健康」をテーマにまちなかの再開発を進めており、現在の再開発事業では医療や子育てに関するサービスが多くなっており、「歩いて楽しいまちづくり」や「フレイル対策」に重点をおく米子市としても参考になる事業であった。今回の視察での学びに満足せず、地域課題解決へ向けたさらなる研鑽および新たな先進事例を常に学び、米子市の発展に役立てていきたい。

◎米子市議会 会派自由創政 行政視察報告書（那須塩原市）

- 1 視察日時 令和6年4月24日 午前10時より午前12時まで
- 2 視察先 那須塩原市役所
- 3 視察項目 「デジタル田園都市国家構想交付金を活用したまちづくりについて」
- 4 那須塩原市について 人口 117,005人（米子市の約8割）
面積 592.74平方キロメートル（米子市の約4.5倍）

5 事業概要

現在、那須塩原市では国のデジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ TYPE 2で採択された多くの事業を実施し、その活用事例は子育て・教育・経済・観光など多岐にわたっている。那須塩原市における DX の推進では、「那須塩原市 DX 推進戦略」による方向性の明確化、「那須塩原市 DX 推進戦略アクションプラン」による具体的な取り組みの明確化を経て各事業に取り組んでおられる。

6 視察内容

那須塩原市はコロナ禍の令和3年度に DX 推進の取り組みとして、デジタル推進課を新設、外部人材の特別職非常勤となる「DX フェロー」の設置や有識者会議、庁内推進本部を置くなどしてきた。この度はその中でも以下、国のデジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ TYPE 2（以下、デジ田 TYPE 2）に採択され、データ連携基盤を活用した事業である「地域ポータルアプリ」「電子母子手帳アプリ」「デジタルエコポイント」「観光パスポート」について、デジタル推進課、学校教育課、子育て相談課、カーボンニュートラル課、一般社団法人那須塩原市観光局よりお話を伺った。

学校教育課より伺った、地域ポータルアプリを活用では、これまでそれぞれの学校での対応が異なっていた保護者連絡手法を統一し、各家庭への連絡の迅速化と学校側の業務負担軽減に役立っていた。子育て相談課では市の子育てアクションプランに基づいて令和5年度に紙版の子育て支援手帳を補完するものとして、電子母子手帳アプリを導入した。那須塩原市ではファミリー層が住みやすいまちづくりを目指しており、アプリ導入により、保護者が子育て情報を確認しやすくなるなどのメリットがあったそうだが、外国人が多く住んでいる那須塩原市ではこのアプリを多言語化した事による検診のお知らせ等の情報を母国語が日本語でない保護者へもしっかりと伝えられるようになったといった効果もあった。一方で紙での母子手帳交付は必須の為、乳幼児健康診査や予防接種等の記載がアプリで代用できないといった課題もある状態であった。カーボンニュートラル課では那須塩原市で平成28年のデコ活宣言後、平成29年より取り組んでいた「なすしおばらエコポイント制度」をアプリへ移行し、これまで課題であった、市が対象とするアクション後からのポイント付与への期間が短縮され、市民への環境行動の広がりにつながっていた。一般社団法人那須塩原市観光局では、市が窓口となりデジ田 TYPE 2の申請を行い、観光局がスマートフォンアプリの LINE を活用した「なすしおばら観光パスポート」を導入していた。アプリ内では、観光マップでの施設や観光場所の検索、

市内で消費量の多いラーメンを観光資源としたラーメンマップの閲覧、エリア内のクーポンやふるさと納税情報の掲載があり、登録者数は5,000名弱であったが、周知にまだ課題があるとの事であった。

一連のDX推進の取り組みを包括しているデジタル推進課では、現在15名体制（課長、課長補佐、デジタル制作担当、システム管理担当、DXフェロー）でDXを進めていた。主な庁内での体制としては、市長を座長、副市長を最高デジタル責任者とする庁内推進本部を設置し、最高デジタル責任者の元、各部局長からなるDX推進本部を置いており、DX推進員が連絡調整・運用支援・情報収集及び研修などをおこなっている。また、DX推進戦略の策定やDXに関する総合的な助言を行う、有識者会議を年に4から5回程度開催するなど、全庁的にも専門的にもDXを推進していた。特に、会議においても従来の庁内ネットワークの再構築の必要性も重なり、業務効率化とテレワークの利便性向上等の観点から、Slackを導入（全庁職員867人分ライセンス取得）し、職員への情報周知・情報共有・連絡調整・ハドルミーティングを活用した会議や打合せを行っていた。また、市長を座長としてトップダウンでDXが進んでいる事や、庁内でのDXによる業務改善コンテストによる意識向上やイメージの共有により、今回視察で伺った、デジ田TYPE2以外にもDXにより多くの効果が出ていた。一方で、デジタル推進課では令和3年度以降増員はしているものの、各課へのサポートの面を考えるとDX推進期における職員配置は厳しい状況であったり、職員へのさらなる研修や慣れ、デジタルリテラシーの向上、庁内ルールの改善等、今後改善すべき課題は多くあるとの事であった。

7 所感・考察

米子市では令和4年3月に米子市DX推進計画を策定、令和6年度よりDX推進鑑を新たに設置するなど、コロナ禍や2040年問題による人手不足を鑑み、DXの推進による住民利便性の向上・業務効率化・行政サービスのさらなる向上を目指している。この度の視察研修では、国のデジタル田園都市国家構想において、データ連携基盤を活用し複数のサービス実装を行うデジ田TYPE2を多く採択された那須塩原市へ伺い、それぞれの事業やDX推進の取り組みについて伺った。伺った事業の中でも、DXによる子育て支援での多言語化によるサービス向上や、観光客向けの利便性向上など、今後、米子市においても参考にすべき事例について学ばせていただくことが出来た。また、デコ活の一環としてスタートした、なすしおばらエコポイント制度はDXにより、ポイント利用の利便性の向上が図られていた。この取り組みは、介護保険制度より始まり近年様々な自治体で独自の取り組みが進んでいる、いわゆるボランティアポイント制度や、利用者の利便性の高いデジタル地域通貨等の取り組みにも活かせるのではないかと期待感が高まった。

米子市でも現在DXにより、子育て・教育・交通・業務効率化等、多くの場面において向上が見受けれるようになってきているが、現状に満足することなく、この度の視察を機にさらなる市民サービス向上や利便性の向上に向け努めていきたい。

行政視察行程（会派：自由創政 8 名）

月 日	行 程	宿 泊 先
4 / 2 2 (月)	7:25 8:45 9:13 9:38 9:44 9:51 10:18 12:32 米子空港=====羽田空港=====浜松町=====東京=====盛岡 ANA382 便 モノレール JR 京浜東北線 JR 新幹線はやぶさ 17 号	昼食：盛岡駅周辺
	盛岡市行政視察 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで 【議会事務局】 ☎019-613-8315（藤原様） 【調査項目】木伏緑地 ^{きつがし} について（Park-PFI による公園・トイレ・飲食店など）※ 現地視察あり ※ 公用車（濃い水色のマイクロバス）での送迎あり。待合せ：13:45 盛岡駅西口バスロータリー	アートホテル盛岡 （盛岡駅から徒歩 7 分） ☎019-625-2131
4 / 2 3 (火)	10:08 12:05 (9 分) 盛岡=====郡山=====郡山市役所 JR 新幹線やまびこ 52 号 タクシー	昼食：郡山駅周辺
	郡山市行政視察 午後 1 時 30 分から午後 3 時まで 【議会事務局】 ☎024-924-2521（尾形様） 【調査項目】健康未来都市に向けた都市開発推進事業（郡山駅からタクシーで 10 分） (10 分) 15:37 15:59 郡山市役所=====郡山=====那須塩原 タクシー JR 新幹線なすの 278 号	那須ミッドシティホテル （那須塩原駅から徒歩 3 分） ☎0287-67-1400
4 / 2 4 (水)	(11 分) ホテル=====那須塩原市役所 タクシー	昼食：那須塩原駅周辺
	那須塩原市行政視察 午前 10 時から正午まで 【議会事務局】 ☎0287-62-7181（金田様） 【調査項目】デジタル田園都市国家構想交付金を活用したまちづくり（那須塩原駅からタクシーで 11 分） (11 分) 14:03 15:16 15:31 15:35 15:50 16:08 18:10 19:30 那須塩原市役所=====那須塩原=====東京=====浜松町=====羽田空港=====米子空港 タクシー JR 新幹線なすの 276 号 JR 京浜東北線 モノレール ANA387 便	

旅費計算表

令和6年4月22日 ～ 令和6年4月24日 (2泊3日)

自由創政会派行政視察

岩手県盛岡市、福島県郡山市、栃木県那須塩原市

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		日 当	宿 泊 料	
							特 別	新 幹 線	議員1,500円 随 行 1,100円	甲 14,800円 10,900円	乙 13,300円 9,800円
4/22	米 子 空 港 ～ 羽 田 空 港	ANA	776.0		18,420				1,500		11,980
(月)	～ 浜 松 町	モノレール	17.8		519						
	～ 東 京	JR	3.1		17,160						
	～ 盛 岡	JR	535.3					6,230			
4/23	盛 岡 ～ 郡 山	JR	308.6					4,630	1,500		10,200
(火)	郡 山 ～ 那 須 塩 原	JR	68.9								
4/24	那 須 塩 原 ～ 東 京	JR	157.8					3,180	1,500		
(水)	～ 浜 松 町	JR	3.1								
	～ 羽 田 空 港	モノレール	17.8		519						
	～ 米 子 空 港	ANA	776.0		18,420						
計	議 員 旅 費	95,758			55,038	0	0	14,040	4,500	0	22,180
	随 行 旅 費	0									

出 席 議 員 岩崎議員、奥岩議員、塚田議員、戸田議員、西野議員

議員旅費 95,758 × 5名 = 478,790 円

95,239 × 1名 = 95,239 円

93,458 × 2名 = 186,916 円

取扱料金 550 円

タクシー代 1,300 + 1,480 × 2 + 1,570 × 3 = 8,970 円

(郡山駅⇄郡山市役所)

タクシー代 2,100 × 2 + 2,200 + 2,500 × 3 = 13,900 円

(那須塩原駅⇄那須塩原市役所)

お土産代 2,520 × 3箇所 = 7,560 円

計 791,925 円

旅費計算表

令和6年4月22日 ～ 令和6年4月24日 (2泊3日)

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		日 当	宿 泊 料	
							特 別	新 幹 線	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
									随員1,100円	10,900円	9,800円
4/22	米 子 空 港 ～ 羽 田 空 港	ANA	776.0		18,420				1,500		11,980
(月)	～ 浜 松 町	モノレール	17.8		519						
	～ 東 京	JR	3.1		17,160						
	～ 盛 岡	JR	535.3					6,230			
4/23	盛 岡 ～ 郡 山	JR	308.6					4,630	1,500		10,200
(火)	郡 山 ～ 那 須 塩 原	JR	68.9								
4/24	那 須 塩 原 ～ 東 京	JR	157.8					3,180	1,500		
(水)	～ 浜 松 町	JR	3.1								
	～ 羽 田 空 港										
	～ 米 子 空 港	ANA	776.0		18,420						
計	議 員 旅 費			95,239	54,519	0	0	14,040	4,500	0	22,180
	随 行 旅 費			0							

出 席 議 員 田村議員

議員旅費 95,239 × 1名 = 95,239 円
計 95,239 円

自由創政会派行政視察
岩手県盛岡市、福島県郡山市、栃木県那須塩原市

旅費計算表

令和6年4月22日 ～ 令和6年4月24日 (2泊3日)

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		日 当 宿 泊 料	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
							特 別	新 幹 線		随 行1,100円	10,900円	9,800円
4/22	米 子 空 港 ～ 羽 田 空 港	ANA	776.0		18,420					1,500		11,980
(月)	～ 浜 松 町	モノレール	17.8		519							
	～ 東 京	JR	3.1		17,160							
	～ 盛 岡	JR	535.3					6,230				
4/23	盛 岡 ～ 郡 山	JR	308.6					4,630	1,500			7,900
(火)	郡 山 ～ 那 須 塩 原	JR	68.9									
4/24	那 須 塩 原 ～ 東 京	JR	157.8					3,180	1,500			
(水)	～ 浜 松 町	JR	3.1									
	～ 羽 田 空 港	モノレール	17.8		519							
	～ 米 子 空 港	ANA	776.0		18,420							
計	議 員 旅 費			93,458	55,038	0	0	14,040	4,500	0		19,880
	随 行 旅 費			0								

出 席 議 員 岡田議員、渡辺議員

議員旅費 93,458 × 2名 = 186,916 円
計 186,916 円

自由創政会派行政視察
岩手県盛岡市、福島県郡山市、栃木県那須塩原市